

1. 教育目標

肝・胆・膵領域について培養細胞や臨床検体を用いた研究を行う。それらに臨床データを組み合わせることで、基礎と臨床の両面から肝・胆・膵疾患の病態解析を行う。そして最終的には、新たな診断法や治療法の開発につながるような知見を獲得し、原著論文として発表・報告する。

2. 到達目標

- (1) 肝・胆・膵疾患の病態に関する最新の研究成果を理解する。
- (2) 肝・胆・膵疾患の最新の治療ガイドラインに基づいた治療を実践することができる。
- (3) 分子生物学的な研究手法について習得する。
- (4) 肝・胆・膵疾患に対する臨床データの解析手法を取得する。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。期末に行う口頭試問により、肝・胆・膵疾患全般にわたる知識を評価する。(40%)

研究ノートを定期的に確認し研究指導を行うとともに、肝胆膵科での定例発表会にて評価する。(40%)
成果が得られた時点で学会などに発表し、欧文誌へ投稿する。(20%)

4. 教科書・参考書

- ・ SCHIFF'S DISEASE OF THE LIVER、12th edition
- ・ Zakim and Boyer's HEPATOLOGY: a textbook of liver disease、Seventh Edition
- ・ THE PANCREAS: an integrated textbook of basic science、medicine、and surgery、third edition. Edited by Hans Beger et al.
- ・ 肝硬変のマネジメント 編者 西口修平
- ・ 肝臓専門医テキスト 改定第3版

さらに、必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

授業前に関連する英語論文の和訳を行い、授業時に討論する。(30分)

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【肝胆脾内科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	肝炎ウイルス、肝炎から肝臓までの基礎と臨床	榎本臨床教授 高嶋助教	月曜/3限	半年	2	カンファレンス室
実験研究	培養細胞実験とデータ解析 (1)	福西講師 由利助教	火曜/1・2限	通年	4	実験室
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	榎本臨床教授 塩見准教授	水曜/2限	通年	4	図書室
実験研究	横断研究のコホート構築とデータ解析 (1)	池田助教 曾澤助教	金曜/1・2限	通年	4	カンファレンス室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	横断研究のコホート構築とデータ解析 (1)	福西講師 由利助教	月曜/6・7限	通年	4	カンファレンス室
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	榎本臨床教授 西村准教授	木曜/6限	通年	4	図書室
講義	脾疾患の基礎と臨床	塩見准教授 中野助教	木曜/7限	半年	2	カンファレンス室
実験研究	生化学実験とデータ解析 (1)	池田助教 高嶋助教	金曜/6・7限	通年	4	実験室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と外国文献の抄読	榎本臨床教授 西村准教授	水曜/4限	通年隔週	2	図書室
実験研究	横断研究のコホート構築とデータ解析 (2)	塩見准教授 中野助教	木曜/3・4限	通年	4	カンファレンス室
実験研究	培養細胞実験とデータ解析 (2)	榎本臨床教授 池田助教	金曜/3・4限	通年	4	実験室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	生化学実験とデータ解析 (2)	曾澤助教 高嶋助教	火曜/6・7限	通年	4	実験室
実験研究	横断研究のコホート構築とデータ解析 (2)	西村准教授 福西講師	水曜/6・7限	通年	4	カンファレンス室
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	榎本臨床教授 塩見准教授	金曜/6限	通年隔週	2	図書室